

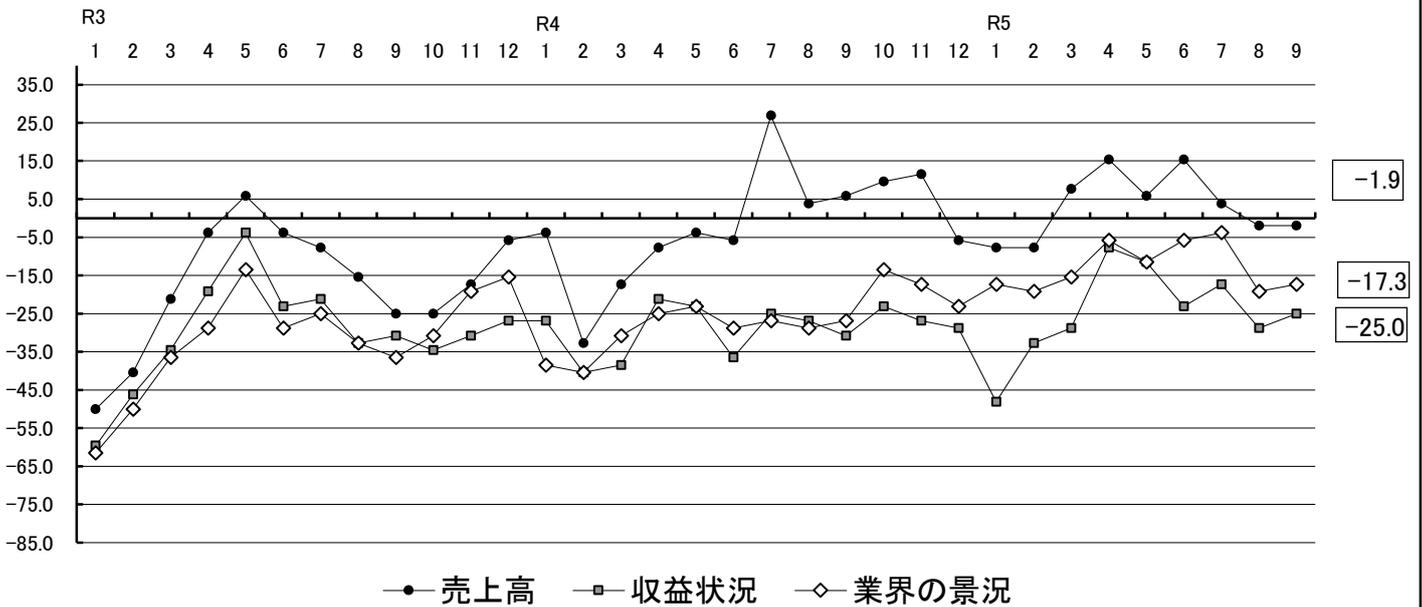
中小企業団体情報連絡員報告結果(令和5年9月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 主要3指標は、売上高は変動なし、収益状況と景況はわずかに上昇した。
- 製造業では一部の業界は回復傾向にある。非製造業では「運輸業」が好転、「小売業」が依然として苦しい状況。
- 景況はわずかな回復傾向が見られるが、依然として全業界で物価高による厳しい状況が続いている。10月からの最低賃金上昇などの新たな負担増、円安の影響の表面化など懸念材料は尽きない。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



| 主要3項目 | 県内 | | 全国 | |
|-------|-------|------|-------|------|
| | DI値 | 前月比 | DI値 | 前月比 |
| 売上高 | -1.9 | -0.0 | -2.1 | -0.5 |
| 収益状況 | -25.0 | +3.8 | -25.0 | +0.3 |
| 業界の景況 | -17.3 | +1.9 | -20.4 | +0.1 |

売上高

当月の県内売上高DI値は、前月と変わらず、-1.9ポイントとなった。全国においては、前月より0.5ポイント下降し、-2.1ポイントとなった。

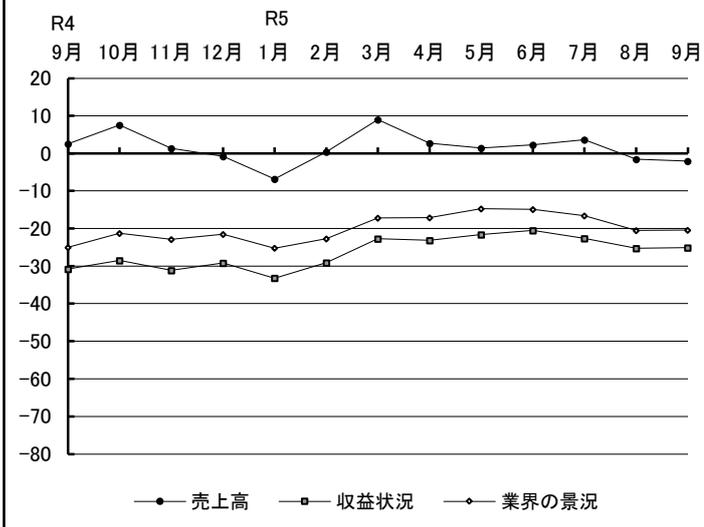
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より3.8ポイント上昇し、-25.0ポイントとなった。全国においては、前月より0.3ポイント上昇し、-25.0ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より1.9ポイント上昇し、-17.3ポイントとなった。全国においては、前月より0.1ポイント上昇し、-20.4ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概況-

9月の前年同月比DI値は、売上高と取引条件が変動なし、それ以外は7指標すべてが上昇した。主要3指標は「売上高」は変動なし、「収益状況」は+3.8ポイント上昇、「業界の景況」も+1.9ポイント上昇した。

製造業では、「繊維・同製品」「鉄鋼・金属」「一般機器」が改善傾向にある。ただし、売上が増加しても資材や燃料の高騰に価格転嫁が追いつかず、依然として収益が厳しい状況が続いている。「木材・木製品」は、住宅需要の低迷と円安の影響により苦境が続いている。

非製造業では、「卸売業」「サービス業」「運輸業」などコロナ規制解除後の活気が継続している業界がある一方、物価高による消費減退で「小売業」は悪化している。特に、燃料費の高騰が収益に甚大な影響を与えており、価格転嫁では対応できない状況にまで達している。

県内DI値はわずかな改善を示しているが、ほぼすべての業界で依然として原料費・燃料費の高騰による厳しい状況が続いている。また、10月からの最低賃金の上昇、パートの労務時間管理、インボイス制度のスタートなどの新たな負担の増大、さらに円安の悪影響が表面化してきており、懸念材料は尽きない。

図表1 【業種別・指標別DI値一覧表】

| | 売上 | 在庫 | 価格 | 条件 | 収益 | 資金 | 設備 | 雇用 | 景況 |
|--------|-------|-------|------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 食料品製造 | 0.0 | -25.0 | 50.0 | -25.0 | -25.0 | -25.0 | 0.0 | 0.0 | -25.0 |
| 繊維・同製品 | 75.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 |
| 木材・木製品 | -25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | -50.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | -50.0 |
| 印刷 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | -100.0 | -100.0 | -100.0 | -100.0 | -100.0 |
| 窯業・土石 | -25.0 | 0.0 | 50.0 | -25.0 | -25.0 | 0.0 | -50.0 | 0.0 | -50.0 |
| 鉄鋼・金属 | -25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 |
| 一般機器 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 25.0 |
| 製造業 | 4.0 | 4.0 | 20.0 | -8.0 | -12.0 | -4.0 | 0.0 | 4.0 | -20.0 |
| 卸売業 | 33.3 | 0.0 | 66.7 | -33.3 | 0.0 | 0.0 | / | -33.3 | 33.3 |
| 小売業 | -57.1 | 0.0 | 14.3 | -42.9 | -71.4 | -57.1 | | -14.3 | -71.4 |
| サービス業 | -33.3 | / | 50.0 | -16.7 | -50.0 | -16.7 | | -16.7 | 0.0 |
| 建設業 | 40.0 | | 20.0 | 0.0 | -40.0 | 0.0 | | -20.0 | -20.0 |
| 運輸業 | 0.0 | | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | 25.0 |
| その他 | 50.0 | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | 0.0 |
| 非製造業 | -7.4 | 0.0 | 25.9 | -14.8 | -37.0 | -18.5 | -14.8 | -14.8 | |
| 全体 | -1.9 | 2.9 | 23.1 | -11.5 | -25.0 | -11.5 | 0.0 | -5.8 | -17.3 |

| | 4年 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 5年 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 前月比 |
|-------|----------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 売上高 | 5.8 | 9.6 | 11.5 | -5.8 | -7.7 | -7.7 | 7.7 | 15.4 | 5.8 | 15.4 | 3.8 | -1.9 | -1.9 | 0.0 |
| 在庫数量 | -14.3 | 5.7 | 5.7 | -5.7 | 2.9 | 2.9 | -2.9 | 5.7 | 0.0 | -8.6 | -11.4 | -11.4 | -2.9 | 14.3 |
| 販売価格 | 30.8 | 36.5 | 34.6 | 30.8 | 23.1 | 25.0 | 36.5 | 30.8 | 36.5 | 34.6 | 30.8 | 19.2 | 23.1 | 3.8 |
| 取引条件 | -13.5 | -7.7 | -11.5 | -7.7 | -11.5 | -9.6 | -11.5 | -9.6 | -7.7 | -13.5 | -15.4 | -11.5 | -11.5 | 0.0 |
| 収益状況 | -30.8 | -23.1 | -26.9 | -28.8 | -48.1 | -32.7 | -28.8 | -7.7 | -11.5 | -23.1 | -17.3 | -28.8 | -25.0 | 3.8 |
| 資金繰り | -21.2 | -15.4 | -21.2 | -21.2 | -30.8 | -17.3 | -19.2 | -9.6 | -11.5 | -15.4 | -11.5 | -13.5 | -11.5 | 1.9 |
| 設備操業度 | -12.0 | 4.0 | 12.0 | 0.0 | -4.0 | -8.0 | -8.0 | -0.0 | -0.0 | 8.0 | 12.0 | -20.0 | 0.0 | 20.0 |
| 雇用人員 | -1.9 | -3.8 | -5.8 | -3.8 | -1.9 | -3.8 | -7.7 | -3.8 | -7.7 | -5.8 | -7.7 | -9.6 | -5.8 | 3.8 |
| 業界の景況 | -26.9 | -13.5 | -17.3 | -23.1 | -17.3 | -19.2 | -15.4 | -5.8 | -11.5 | -5.8 | -3.8 | -19.2 | -17.3 | 1.9 |

特記事項

情報連絡員報告（令和5年9月分）

| 集計上の分類業種 | 具体的な業種 (産業分類細分類相当) | 組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点） |
|----------|-----------------------|---|
| 食料品 | 和洋菓子製造業 | 売上は幾分増加にあるが、先月に続き気温が高く、業種的には厳しい。 |
| | めん類製造業 | 県内各地の夏祭りも終わり、コロナ明けのリベンジ消費の外食などの好調も落ち着いてきて、一時の好調さも収まりつつある。県内でも、中央幹線沿いから離れた周辺地域は、人口減少の影響から、消費に回る金額も下がり気味になってきた。前年との比較もあまり変わらなくなりつつある。そんな中、得意先の後継者難で、外食店舗を閉鎖の方向に向かっている情報あり。少子高齢化の影響で、県内北東部・北西部地域の得意先顧客の状況が厳しくなっているとささやかれている。また、仕入原材料の高騰、新たにスーパーメーカーからの値上げ通知もあり、今後、小麦の政府売渡価格が10月に11.1%下がり、来年には、小麦粉価格が下がる報道があったが、原材料以外のコストが高止まりの状況が続いているので、製品価格を下げるまではいかないのではないと思われる。これまでの大幅な原料小麦粉の値上げや、エネルギーコスト、原材料資材類のアップで、十分な値上げができていないため、製品価格を下げるのは困難かと思われる。 |
| 繊維工業 | 縫製業 | 受注数は昨年より多く売上が増加した。しかし、例年であれば10月生産受注も安定した数量の予定であるが、現状6割になっており不安である。 |
| | 絹・レース・繊維粗製品製造業 | 先月から継続して、サンプルや問合わせの件数は増加している。取引先の志向や販売ルートにもよるが、昨年と比べ動きは悪くない。不規則、不透明な社会の流れだが、今春のシーズンはある程度の数字に繋がると予測している。一方、様々なモノの高騰はまだ続いており、加工所の廃業も重なり、資材調達の方はなお一層厳しくなっている。 |
| 木材・木製品 | 家具・建具製造業 | 住宅着工の減少により売上は低下している。原材料の高止まり・電気代等の高騰によるコスト高の影響により、収益状況も悪化傾向が続いている。人手不足も深刻な問題となっており、製造ラインに支障が出つつある。 |
| | 建具製造業 | 為替の状況が悪く（円安：150円突破）資材の入手に苦労している。これに伴い、販売価格に転嫁しきれず収益が生み出せずにいる。最低賃金の大幅上昇で、各経営者ともに頭を悩ませている。年収の壁問題でも、106万円の壁に対して補助など設けられるようだが、その前の103万円の壁に対しては何の考慮対処も無く、あまり問題解決にならない。 |
| 印刷 | 印刷業 | インボイス制度対応の需要も多少あったが、全体では低調で昨年並みだ。 |
| 窯業・土石製品 | 石灰製造業 | 昨年に比べ、鉄鋼向け・建材関係は増加、肥料関係は価格変更の影響により減少した。全体では、昨年に比べ若干減少した。 |
| | 陶磁器・同関連製品製造業 | 仕入価格や運賃上昇により販売利益が減少している。観光客も、週末には見られるが平日はまばらだ。組合員の製造状況も下火である。やはり物価高がかなり影響しているかもしれない。 |
| 鉄鋼・金属 | 金属製品製造業 | またここに来て、コロナやインフルエンザの感染拡大により社員の休みが増え生産体制に影響が出ている。更なる社内感染も不安である。どの業種に聞いても「人が足りない」との返答で、この先どう対応したらよいか不安だ。自動車金型関連は、新規が少ない上に価格競争も厳しい。自動車部品製造は少し増産にある。継続を期待したい。様々な団体で退会者が増えている。経費削減や自主廃業の理由が多いとの状況。 |
| | 金属製品製造業 | 前月と同じで、エコ給湯器の生産量調整のため売上高が減少した。 |
| 一般機器 | 一般機械器具製造業 | 前年同月と比較しほぼ前年同様との組合員企業からの報告を受けている。相変わらず仕入資材の状況は高値止まり傾向が続いており、消耗品等の更なる値上懸念もある。これに対し販売価格の転嫁が出来ている企業もあるが、企業間でまちまちの状況だ。自動車関連では20%の値上げ要求に対し、2%の値上げ実現との報告があった。収益状況についても全般的に不変といった企業が多く操業度（稼働）についてもほぼ前年同様とのことであった。今後、人手不足が予想され、さらに技術者については深刻になるのではと懸念している。 |

| | | |
|----------|--------------|--|
| | 一般機械器具製造業 | 半導体不足が解消されつつあり活気が戻って来た。しかしながら、業界によっては景気の底上げが出来ず停滞している業種も多々ある。現在の円安状況はボディブローのように効いてきて景気の底割れが出てこないか心配だ。 |
| 卸売業 | 各種商品卸売業 | 当団地組合では、引き続き一部業種を除き売上高、収益、業況等は前年同期に比べ好転とする企業が多い。雇用人員も増とする企業もある。 |
| | 各種商品卸売業 | 業種・取扱商品によって流通量の増減に差がある。燃料価格は、補助金により価格上昇は落ち着いたが、未だ高値が続いており、物価高騰と相まって収益を圧迫している。従業員の人員確保が難しい。(募集をかけても集まりにくい。) |
| 小売業 | 食肉小売業 | 売上は増えて仕事数も多くなり、労務費で電気・ガスが30%程度上昇し、すべてが値上がりしている中、動物が熱中症で増体しない。出荷数も少ない。 |
| | 各種商品小売業 | 夏に入り復調の兆しが見えたかと思われたが、9月は一転して大幅な売上減となってしまった。残暑の影響も大きいと思うが、秋になり物価高が一段と加速し、家計に打撃を与えていることも原因の一つと考えられる。 |
| サービス業 | 理容業 | 電気料金をはじめとする物価高騰に伴い、利用料金の変更を考えている店舗が出てきている。長年、現在の料金で対応してきたが、やむを得ない状況である。 |
| | 給食センター | 10月からの最低賃金上昇(過去最大の上げ幅)の影響が甚大である。電気代、燃料代高騰における苦しい経営環境のなか、さらなる収益状況の圧迫が避けられない。特に当組合は人手(パート)が掛かる業種である。商品価格の見直し・交渉を引き続き実施しているが、追いつかないのが実情である。また、消費税の支払い月は資金繰りも苦しい。 |
| | 旅館・ホテル | コロナ5類定着の様相からほぼ昨年同様(全国支援有り)の宿泊者数となった。宿によっては増加しているところもある。連休もそこそこ活況があり、10月の予約状況も良さそうだ。一方、長期的には、観光産業に限った事ではないが後継者不足が深刻な問題となっている。 |
| 建設業 | 職別工事業 | 行動規制緩和が実施され、内装業界においても少しずつ活況が帯びてきているものの、円安による原油高の影響を受け材料費の値上げが相変わらず収益を圧迫している。売上状況においては対前年比若干の増加を示している。 |
| 運輸業 | 貨物自動車運送業 | 組合員・地域の事業者においては輸送一件当たりの荷物量はやや減少傾向にある。その一方で、小口の宅配取扱量は増加傾向となっているが、それに見合った車両・人員確保の改善が急務となっている。トラックドライバーの時間外労働の上限規制が半年後に適用されることにより、運送業務の改善が必要となっている。また、小規模事業者の中にはインボイス制度に対応した請求書又は領収書の取扱いに苦慮している方もおり、電子帳簿保存法への対応も難しいとのことだ。 |
| | 貨物軽自動車運送業 | 少しずつではあるが、県内の様々な業界から依頼数が増え出している。個人からの依頼、引越など、この時期は学校関係などから楽器や演劇装置など例年通りの荷動きで、10月の売上にも期待が持てそうだ。 |
| | 一般乗用旅客自動車運送業 | 宇都宮駅東口はLRT人気でまだ混雑の様子が見受けられるが、駅西口や大通り全体については益々の物価高が影響しているのか、人の流れなども一時よりは少なくなっている状況だ。10月からのインボイス制度が導入され、今後が心配されるところだ。 |
| その他の非製造業 | 大谷石採石業 | 業界の景況は「不変」よりも好転に近い感じである。観光については外国人が増えている状況だ。 |